



# 白アリ防除用 土壌処理剤

## 白アリスーパー乳剤 #20 低臭性薬剤

20倍希釈型



外 観：淡黄色透明油状液体  
 希 釈 倍 率：20倍  
 使 用 個 所：建物床下の土壌処理用  
 使 用 量：面状散布・3ℓ/m<sup>2</sup>、帯状散布・5ℓ/m<sup>2</sup>  
 包 装：0.8ℓ 入り角缶 (4缶/ケース)  
           4ℓ 入り ポリタンク (4本/ケース)  
           16ℓ 入り石油缶  
 毒劇物区分：普通物  
 危険物表示：危険物 第四類 第三石油類 危険物等級Ⅲ

標準処理量(面状散布) = 1㎡当たり3ℓ (希釈倍率20倍)

容 量	希釈薬剤量	処理面積	タタミの広さ
0.8ℓ 入り	16ℓ	約5.3㎡	3.2枚
4ℓ 入り	80ℓ	約26.6㎡	16枚
16ℓ 入り	320ℓ	約106.6㎡	65枚

特長

- ◆人畜毒性は普通物相当で低く、刺激性・薬剤臭が少ないので、作業者に対する安全性が高く、施工作業が楽に出来ます。
- ◆蒸気圧が低いので揮発移行性はほとんどなく、散布濃度が低いため、居住者や周辺への影響はほとんどありません。
- ◆これまでの防蟻剤に比べ、魚毒性が低いので、周辺環境への影響が少なくなります。
- ◆これまでの防蟻剤とは異なり、コンクリート上やアルカリ性の土壌に散布しても安定した殺虫効力を発揮します。
- ◆光や温度、土壌中での安定性が高く、また土壌への吸収性が高く、残効性が優れ、土壌処理剤に適しています。
- ◆白アリスーパーシリーズによる、木部処理と併用すると、より効果的です。

## 白アリスーパー粒剤 低臭タイプ

そのまま散布



外 観：黄色粒状  
 使 用 個 所：建物床下の土壌処理用  
 標準処理量：800g/m<sup>2</sup>  
 包 装：10kg 入り缶、5kg 入り缶  
 毒劇物区分：普通物  
 危険物表示：無し

標準処理量 = 800g/m<sup>2</sup>

容 量	処理面積	タタミの広さ
5kg 入り	6.25㎡	3.7枚
10kg 入り	12.5㎡	7.5枚

特長

- ◆人畜毒性は普通物相当で低く、刺激性・薬剤臭が少ないので、作業者に対する安全性が高く、施工作業が楽に出来ます。
- ◆希釈の手間がなく、そのまま簡単にお使いいただけます。
- ◆これまでの防蟻剤に比べ、魚毒性が低いので、周辺環境への影響が少なくなります。
- ◆これまでの防蟻剤とは異なり、コンクリート上やアルカリ性の土壌に散布しても安定した殺虫効力を発揮します。
- ◆光や温度、土壌中での安定性が高く、残効性が優れ、土壌処理剤に適しています。
- ◆白アリスーパーシリーズによる、木部処理と併用すると、より効果的です。



株式会社 吉田製油所

# 土壌処理剤の使用方法及び施工例

## 使用箇所

### ●新築建築物の場合

土壌処理は原則として建築物の基礎に囲まれた床下の土壌を対象とする。

さらに、建築物の外周の防除処理が必要な場合には、薬剤が外部に流出しないような方法で行う。

- ①基礎、束石および配管類の立ち上がりの部分の周囲の土壌に対して帯状散布を行う。
- ②床下にコンクリートを打設またはポリエチレンシートで覆う場合は、打設または覆う前に基礎の内側に沿って帯状散布をし、その内側の部分に面状散布を行う。
- ③床下土壌が既にコンクリート打設されており、上記②項に基づく処理ができない場合は、コンクリート表面に薬剤を選定して、基礎、束石および配管類の立ち上がり部分に処理を行う。但し、イエシロアリの被害が著しい地域においては②項を原則とする。
- ④浴場、便所、玄関、勝手口等の土間コンクリート下の土壌処理は、基礎の内側に沿って帯状散布をし、その内側の部分に面状散布処理を行う。

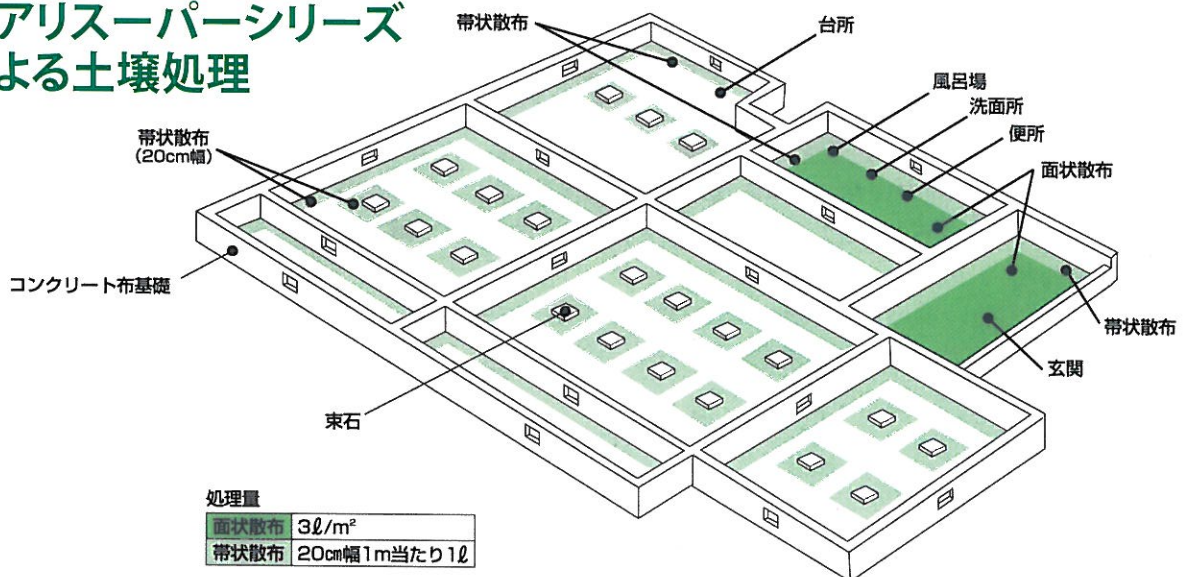
### ●既存建築物の場合

土壌処理は原則として建築物の基礎に囲まれた床下の土壌を対象とする。

建築物の外周の防除処理が必要な場合には、薬剤が外部へ流出しないような方法で行う。

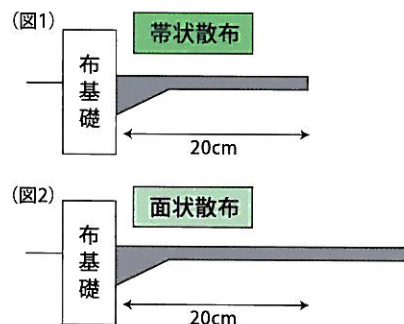
- ①床下が露地の場合は、基礎、束石、および配管類の立ち上がりの周囲に対して帯状散布を行う。
- ②床下が土間コンクリート打ちで人が入れる構造の場合は、基礎、束石および配管類の立ち上がり部分に帯状散布を行う。この場合コンクリート打ち継ぎ部分や割れは特に入念に処理する。
- ③床が土間コンクリート打ちで、転ばし根太の場合は、コンクリートの表面に薬剤を選定して面状処理をし、必要があれば床板を外して加圧注入処理を併用する。
- ④床が土間コンクリート打ちで、床材が畳又は木質系の場合は、加圧注入処理法によって必要な箇所を処理する。

## 白アリスーパーシリーズによる土壌処理



## 白アリスーパー粒剤 施工方法

- ①施工箇所を清掃し、トンボなどをうい整地して下さい。
- ②帯状散布の場合は布基礎側や束石側を深く整地し、立ち上がり側の処理層が厚くなるように散布してください。(図1)
- ③面状散布の場合は、帯状と面状の接点面に段差が生じないように、処理面を合わせるように散布してください。(図2)
- ④散布表面が均一になっていない場合は、板切れやコテなどを用いて表面を平らにして下さい。



製造元  
株式会社 吉田製油所

(社) 日本しろあり対策協会会員  
(社) 日本木材保存協会会員



本社 東京都台東区上野3-22-8新ジドビル 電話 03(3834)4171 FAX 03(3831)4171  
川崎工場 神奈川県川崎市川崎区浮島町11-2 電話 044(288)5522 FAX 044(277)7721  
弊社工場は、国際規格ISO9001認証を取得しております。

代理店